

# 習いごとアンケート

## 習いごと 楽しく通っていますか？

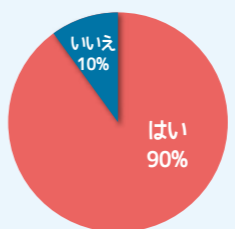
アンケート実施期間:2018年9月23日~10月5日  
 アンケート対象者:全児童・全保護者  
 ◎アンケートの回答数と回答率



日の出小児童の習いごと事情を調査しました。子どもたちがどんな習いごとをどのように考えて通っているか、また保護者の方の習いごとについての子どもへの向き合い方などを紹介します。

高学年女子(人気順)  
 1位 ピアノ  
 2位 学習塾  
 3位 書道  
 4位 英会話

### Q1. 今、習いごとをしていますか？

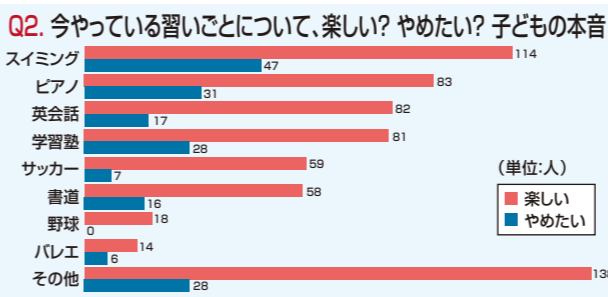


### どんな習いごとをしていますか？

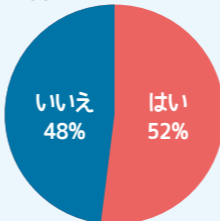
- 低学年男子(人気順)  
 1位 スイミング  
 2位 サッカー  
 3位 英会話  
 低学年女子(人気順)  
 1位 ピアノ  
 2位 スイミング  
 3位 英会話  
 高学年男子(人気順)  
 1位 学習塾  
 2位 スイミング  
 3位 サッカー

アンケート結果より、高学年になると学習系の習いごとも人気のようです。その他として、テニス、体操、バスケットなどの運動系の習いごとが目立ちました。全学年ともに単純に面白くだけでなく、上手になるからと、技術の向上が励みになっている子どもも多く、自分のためになるという感じているようです。

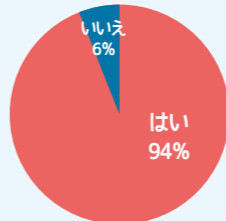
その中で、子どもたちは習いごとについてどう思っているのか聞いてみました。



### Q4. 子どもから習いごとをやめたいと言われたことはありますか。

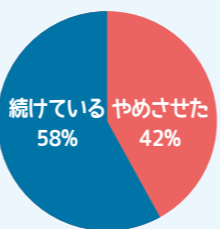


### Q3. 今まで習いごとをさせたことはありますか。



やめたいと思っている習いごとは、スイミングという意見が一番多いようです。理由は、楽しくない、上手くできない、記録が伸びないなどがありました。学習塾やピアノの理由は、宿題や練習が大変という意見が多数ありました。全体的に、「楽しい」と「やめたい」を比較すると、すべての習いごとで、「楽しい」との答えが多く、子どもたちが習いごとを楽しみ取り組んでいることがうかがえました。

### Q5. その時どうしましたか。



### やめさせた理由について

- 本人のやる気がないと、続けても仕方がない
- 本人が楽しくなければ上達しないと思ったから
- やりたくない事を無理にさせても、上手にならないし、悲しい顔を見るのがつらいし、費用がもったいない
- 本人の意思に反して無理に通わせるのは、親も苦痛だし、お金ももったいない
- 本人の話を聞き、やめたい理由の内容に納得がいけば、やめても良いと思う
- 目標を達成したから
- 次にやりたいことが見つかったから
- 他の習いごとを始めるため
- 本人が目的目標を達成し、本人が続けることよりも新しい事をしたいと望んだので
- 子どものやりたいものがあるなら、やめたい習いごとはやめて、やりたいものをやらせたい

### どうやって続けさせたのですか？

一度始めたものは、できれば続けて欲しいが、子どもの意思を尊重し、話し合う家庭の様子がうかがえます。高学年では、本人にまかせる傾向がある一方、低学年では、「ママがさせたいだけでしょ」と言われたためとか、本人の気がのらなかったが無理に1年だけ続けさせた、だんだんかわいそうな気がしてやめさせたというような意見もあり、思わず「あるある」と納得してしまいました。

### 具体的な方法として、

- 励まして迎えに行ったり見学したりして、できるだけ付き添うようにしていました
- 一回だけ休ませたり、友達と目標を決めて、期限をつけて頑張るように励ましたり、続ける事が大切であるという取り組む姿勢を示したり、保護者の方々のさまざまな努力がうかがえました。
- 続ける事の大切さ、習得する達成感を味わうまでは続けさせたいため、言い聞かせた
- 努力することも大切だと教えた
- 新たな目標を設定し、その目標を達成するまでは頑張るように励ましながら続けさせる
- 目標としている段階までは頑張らせる。その結果本人も自信がついて楽しくなってきた
- もう少しだけ頑張ってみようと思しながら乗り切りました
- 3か月まず継続させ様子を見る



### 大人になって役立った習いごとは何ですか？

1位 書道  
 2位 ピアノ・エレクトーン  
 3位 そろばん  
 4位 水泳 5位 英会話 6位 塾

保護者の方が子どもの頃に習っていて、大人になって役立ったなどと思う習いごとは何ですか？最も回答が多かったのは、書道(硬筆含む)でした。「きれいな字が書ける」「子どもに教えられる」「字を書く楽しさを知った。」などの意見が多くあがりました。

2番目はピアノ、エレクトーンで82名。楽譜がよめる、子どもに弾いてあげられる、子どもに教えられる、気分転換・リラックスポイント、仕事になった、等様々な場面で役立っているようです。

3番目は、そろばんの64名。計算が速くなった、算数が好き(得意)になった、生活の中で暗算が役立つ等の意見がありました。

4番目に水泳で37名。  
 5番目に英会話で18名。  
 6番目に塾・公文で16名と続きます。

全体を通して、子どもに教えられる、集中力がついたという理由をあげる方が多くみられました。また、「何でもチャレンジすること

とは良い、知らない世界を知ることができ、礼儀作法が身に付いた、どんなことも経験として無駄にならないかと思う、現在直接役に立っているかはわからないが、何かを一生懸命続けるということは後々の人生に役立つと思うなどさまざま意見をいただきました。

### アンケートの集計を通して

多くの子どもたちが、楽しんで習いごとに通っている様子うかがえました。しかし、ご意見の中に、「親の期待が多すぎると子どもはつらいと思います。」「たくさんの子が習いごとをしているのでやせないといけないのか不安になります。」「等の意見もありました。習いごとの種類や目的も様々ですが、子どもがどのように感じながら通っているかを理解することが大切だと思います。習いごとに限らず、子どもがどうかを親が気付けてあげて、そのことに集中して取り組めるような環境を与えてあげられたらよいですね。各家庭によっていろいろな考えがあると思います。このアンケートを機会に、習いごとについて話し合ってみてはいかがでしょうか。ご協力ありがとうございました。